

福祉教育のお品書き

～共に生きるふくし学習～



社会福祉法人 松前町社会福祉協議会

松前町ボランティアセンター

目次

1	はじめに	P1
2	「ふくし」って何だろう？	P2
3	ふくし学習の基本的な考え方	P3
4	ふくし学習展開のイメージ	P4
5	より良い学習にするために	P5
6	ふくし学習の準備から実施までの流れ	P6
7	体験プログラム	
7-1	車椅子、高齢者疑似体験指導	P7
7-2	福祉教育派遣（CIL 星空）	P8
7-3	福祉教育派遣（ボランティア団体）	P9
7-4	金融経済教育派遣（SMBC）	P10
7-5	障がい者スポーツ指導者派遣	P11

1. はじめに

現在、学校では教科横断的な学習や「総合的な学習の時間」の一層の充実により学校・地域における「こどもの生きる力」の育成が期待されています。

また、地域では、住民自らが地域の課題を発見し、課題を「我が事」と捉え「丸ごと」地域で支え合うネットワークの構築が求められています。

そこで、松前町社会福祉協議会では、「共に学び、共に生き、共に育つ心を育む」ふくし学習の授業に役立てていただけるよう、福祉教育のお品書きを作成しました。福祉学習では何をすればいいのか？という時に、先生だけですべてを企画することは大変です。

ぜひ、松前町社会福祉協議会・松前町ボランティアセンターにご相談ください。お品書きに掲載したものだけでなく、地域性やその規模、参加者の年齢や関心などにより、適宜対応も可能です。ぜひ、一緒に考えていきましょう。

社会福祉協議会とは
町民の皆様と誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり（地域福祉）を進める団体であり、社会福祉法に定められた団体です。

2. 「ふくし」って何だろう？

ふくし（福祉）とはみんなの幸せということ

ふくし（福祉）とはなんでしょうか？「福」・「祉」というそれぞれの言葉には、どちらも幸せという意味が込められています。

これまで福祉は、高齢や障がいなどにより、生活に課題を抱えた人への支援であると捉えられ、社会的に困っている人やかわいそうな人だからお手伝いをしてあげる存在だと考えられがちでした。

しかし、現在は地域に住むすべての人が幸せに暮らすためにはどうしたらいいのかを考え、行動していくことが「福祉」と考えられています。地域には、いろいろな人が暮らしています。一人ひとりが尊重され、支え合いながら、自分らしい暮らしを実現していくことが大切です。



ふだんの



くらしの



しあわせ

3. ふくし学習の基本的な考え方

ふくし学習では、技術や知識を覚えるだけでなく、いきることやいのち、障がい、老いなどについて、考えていくことが今、求められています。

そして、学習をすすめていくプロセスとして、地域住民や地域の福祉施設、企業等と連携・協力しながら、こどもたちを、その地域のみんなで育ていくことで、相互作用によって、地域づくりに発展していくきっかけにもなっています。



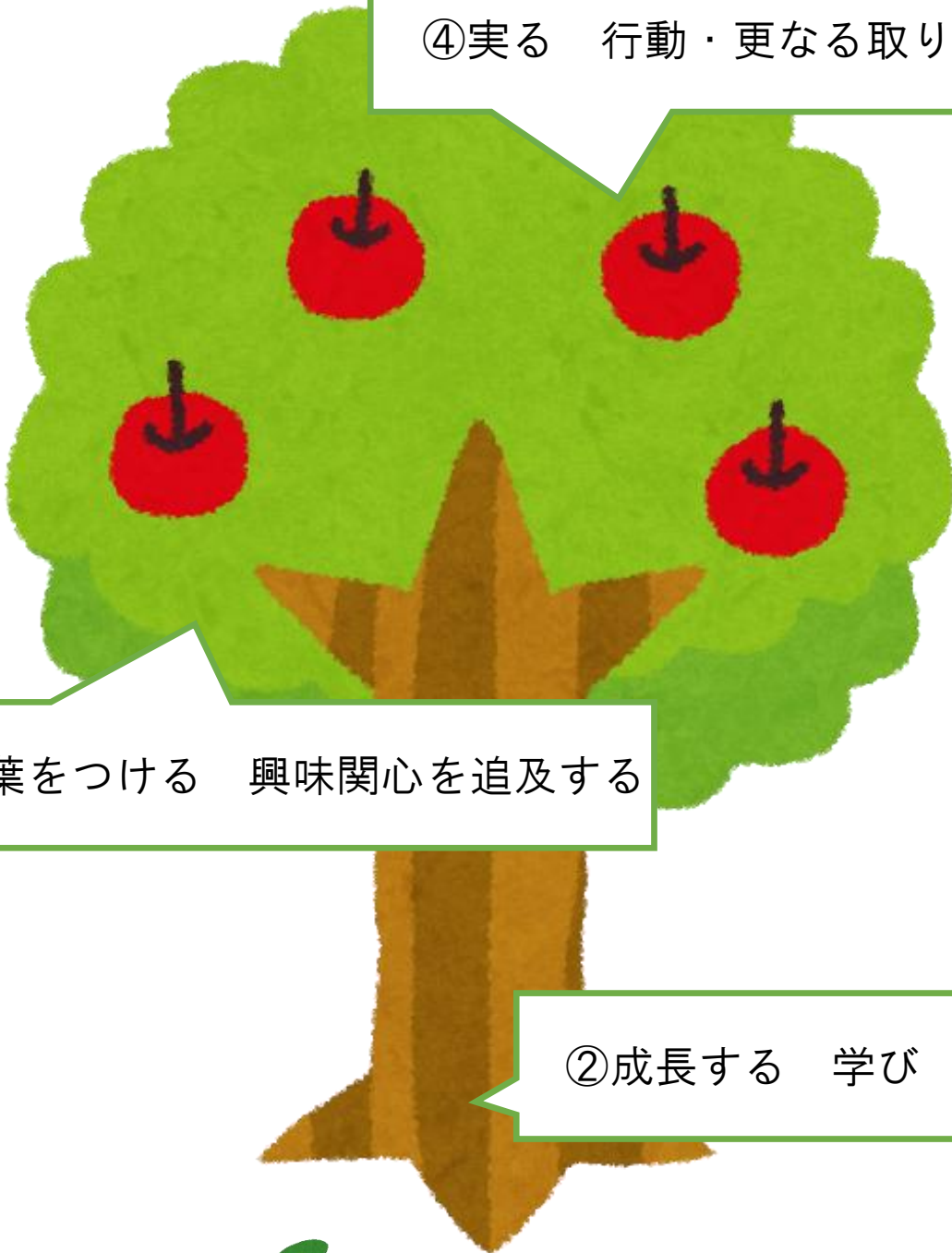
4. ふくし学習展開のイメージ

④実る 行動・更なる取り組み

③葉をつける 興味関心を追及する

②成長する 学び

①疑問を持つ「ふくしって何？」



5. より良い学習にするために

ふくし学習は、車いす体験や高齢者疑似体験などで障がいのある人や高齢者の動きにくさを体験したり、手話や点字を覚えたりすることだけを目的に行うものではありません。体験学習は、外見でわかる機能障害、能力低下の理解につながりますが、それだけでは真の「ともに生きる」社会は実現しないのではないのでしょうか。

その機能障害、能力低下により生じる活動や参加の制約があってもできることがあると気づき、どんな支援があればみんなと同じように生活できるのか考えていくことが重要です。

ポイント① できないからかわいそう？どうすれば、みんなとおなじように生活できる？



ポイント② 困っている場面は、高齢者、障がい者だけでなく、自分も含め、地域に住むみんな。



6. ふくし学習の準備から実施までの流れ

①ふくし学習をとりあげたいな…と思ったら
まずは松前町社会福祉協議会にご相談ください。
実施する2カ月前までにご相談ください。



②プログラム組み立ての相談
学習のねらい・希望の内容・日時・人数・これまでの学習の様子などをお伺いしながら、先生方と一緒にプログラムを組み立てていきます。



③講師調整
社会福祉協議会が講師の調整・関係団体の調整を行います。
調整が終わりましたら、決定のご連絡をさせていただきます。



④事前打ち合わせ
担当の先生と講師の当日の段取りや必要備品などの打ち合わせを行います。
貸出備品が必要な場合は、社会福祉協議会にご相談ください。



⑤実施
ケガに注意しながら体験を行ってください。
また、社会福祉協議会の職員も状況に応じて参加させていただきます。



⑥気づきと発展
学習を通じて感じた、一人ひとりの「気づき」を振り返り、更なる発展に繋がります。終了後に調べ学習や内容の振り返りをすると効果的です。
感想などありましたらぜひお寄せください。

7. 体験プログラム

1 車椅子、高齢者疑似体験指導

内容 各学校に訪問し、社会福祉協議会職員及び介護ボランティア団体の協力による車椅子、高齢者疑似体験指導を行います。

時間 90分～120分程度（人数に応じて多少時間が変動します）
会場準備の為、開始する30分前には準備させていただきます。

料金 無料

準備物

（1）社協・ボランティア等が準備してお持ちします。

- ◇車いす、高齢者疑似体験セット、スロープなど
（多くの車椅子が必要な場合はご相談ください）

（2）学校側で準備をお願いします。

- ◇机10台・椅子10脚 程度（高齢者疑似体験にて使用）
- ◇マット4枚 程度（車椅子体験にて使用）
- ◇事前に資料をお渡ししますので児童・生徒にお渡しください。
- ◇車椅子は二人一組のペアに、高齢者疑似体験は三人～四人のグループになりますのでお願いします。

体験の仕方

- ◇対象者（児童）を車椅子体験と高齢者疑似体験の2組に分け、それぞれの組を各ボランティアが担当し指導します。各組は、車椅子体験と高齢者疑似体験を交互に体験します。
- ◇体験後、質疑応答を行って終了する流れになります。

その他

- ◇この他にも白杖とマスクを使った視覚障がい者体験なども対応可能です。まずはご相談ください。

2 福祉教育派遣（CIL 星空）

内容 福祉教育講話や車椅子体験指導を実施する CIL 星空を派遣いたします。障がいをもたれた方が自身の体験の話を踏まえた福祉教育講話・体験を実施しております。

時間 時間に関しては2時間程度が望ましいですが30分でも60分でも時間に併せて調整してくれます。

料金 社会福祉協議会が負担します。

準備物 応相談

福祉教育講話の場合

(1) CIL 星空が準備してくれます。

◇パソコン

(2) 学校側で準備をお願いします。

◇プロジェクター・スクリーン

車椅子・高齢者疑似体験の場合

※準備物に関しては社会福祉協議会が行うのと同じ対応となります。

学校の体育館が福祉体験の場所として一番多いです。

いずれは外での福祉体験を実施したいと考えています。

※体育館のような場所はバリアフリー化しているので、バリアフリーになってない場所での福祉体験も視野に入れているとのこと。

例にすると、

1回目 体育館

2回目 教室

3回目 外（駅、商店など普段過ごしている場所など）などのようなスキルアップ講座も考えられています。

◇ 2024 年から視覚障がい者の講話も行っています。その方は盲導犬を普段使われているので、普段の生活のお話も聞かせていただけます。

3 福祉教育派遣（ボランティア団体）

内容 各学校に訪問し、社協職員がボランティアについてお話いたします。
興味のあるボランティアの話があれば松前町に登録しているボランティア団体を派遣し実際の活動の話をしていただきます。

時間 45分程度（ご相談ください）

料金 無料

準備物 なし

内容（松前町で実施しているボランティア活動の講話）

1. 環境ボランティア

清掃活動（海岸、河川、地域清掃）環境に関する啓発活動、花壇の手入れ

2. 児童支援ボランティア

こども食堂、児童館支援ボランティア、児童への読み聞かせ

3. 生活・介護支援ボランティア

ごみ捨てボランティア、施設系介助ボランティア、話し相手、支え合い活動、朗読、障がい者支援ボランティア等

4. 趣味・特技を活かしたボランティア

絵手紙、生け花体験等

5. 国際ボランティア

外国支援ボランティア、韓国語勉強ボランティア

6. 観光ボランティア

地元のいいところを探すボランティア、ガイドボランティア

7. 防災

防災支援ボランティア等

4 金融経済教育派遣（SMBC）

内容 お金は生活していく上で欠かせない大切なものです。正しい金銭管理やお金のトラブルなどを防ぐために金融経済教育を行っている SMBC コンシューマーファイナンスのスタッフを派遣いたします。子どものうちから成長に合わせて金融知識を学ぶことによって、お金のトラブルを防ぎ生きる力を育みます。

時間 60 分程度（応相談）

料金 無料

準備物

- （１）SMBC コンシューマーファイナンスがパソコンや資料など準備してお持ちします。
プロジェクター、スクリーンなどは学校がご準備ください。

内容

小学生向け

- ◇お金の成り立ち
- ◇新紙幣について
- ◇課金について

中学生向け

- ◇金銭トラブルセミナー

高校生向け

- ◇ローン、クレジット
- ◇生活設計、家計管理セミナー

5 障がい者スポーツ指導者派遣

内容 障がい者スポーツ体験を指導する愛媛県障害者フライングディスク協会の講師を派遣いたします。障がい当事者による講義もあり、スポーツを通じて障がいを持たれた方への理解を深める学習が行えます。

時間 60分～120分程度（応相談）
講話+障がい者スポーツ体験

料金 無料

準備物

機材などは愛媛県障害者フライングディスク協会の講師の方が準備します。

内容

（1）講話

◇障がい当事者による講義

（2）障がい者スポーツ

◇ボッチャ体験

◇フライングディスク体験

◇車椅子バスケット体験

◇ブラインドサッカー体験